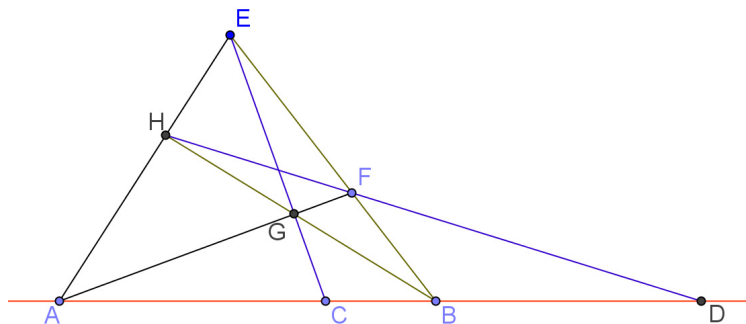


# 調和共役 (harmonic conjugate)

## 1. 定義

1 直線上の 4 点 A,B,C,D が, ある四角形 EFGH に対し図のような関係にある時, 即ち四角形の 2 組の対辺の交点を A,B, 対角線と直線 AB との交点が C と D のとき,

「4 点 A,B,C,D は調和点列」, 「2 点 A,B に対する, 点 C の調和共役点は D」 或いは「2 点 A,B に対し, 点 C と D は互いに調和共役」 などと言い  $H(AB,CD)$  と表します.



このとき, 「メネラウスの定理」と「チェバの定理」より,

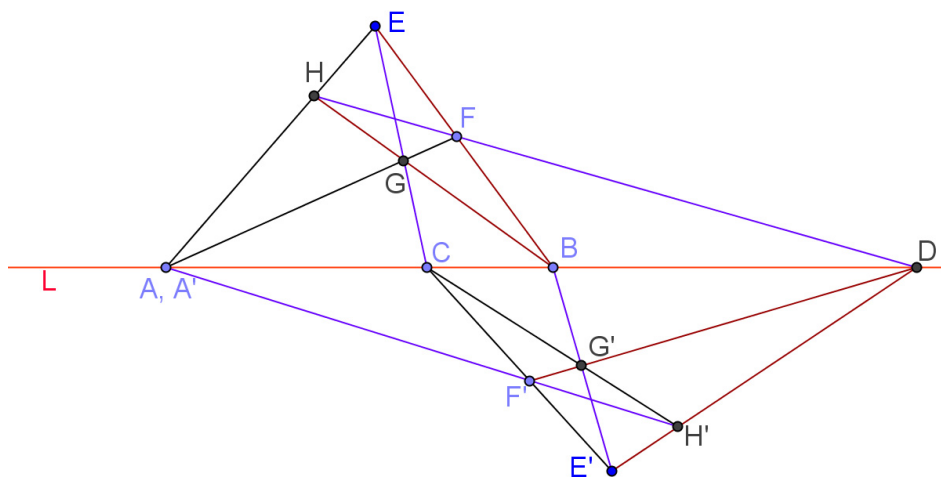
$$\frac{\overline{EH}}{\overline{HA}} \cdot \frac{\overline{AC}}{\overline{CB}} \cdot \frac{\overline{BF}}{\overline{FE}} = 1 \quad \text{かつ} \quad \frac{\overline{EH}}{\overline{HA}} \cdot \frac{\overline{AD}}{\overline{DB}} \cdot \frac{\overline{BF}}{\overline{FE}} = 1$$

よって,

$$\frac{\overline{AC}}{\overline{CB}} = \frac{\overline{AD}}{\overline{DB}} \iff \frac{\overline{AC} \cdot \overline{DB}}{\overline{AD} \cdot \overline{CB}} = 1 \iff [A,B|C,D] = 1 \dots (*)$$

従って E や F などの取り方によらずに, 3 点が決まると 残りの 1 点は確定します.

定義より  $H(AB,CD)$  なら「 $H(BA,CD)$  かつ  $H(AB,DC)$  かつ  $H(BA,DC)$ 」ですが、  
 更に  $H(CD,AB)$  も成り立ちます。



[definition.ggb](#)

上図で、四角形  $EFGH$  に対しては、 $A,B$  が対辺の交点、 $C$  と  $D$  は対角線上にあります。  
 よって、 $H(AB,CD)$  です。ここで  $L$  の下側に、点  $E'$  をとり、直線  $CE'$  上に  $F'$  を、次に  
 直線  $BE' \rightarrow$  直線  $DF' \rightarrow$  交点  $G' \rightarrow$  点  $H'$  の順に、四角形  $E'F'G'H'$  を作ります。そして直線  
 $H'F'$  と  $L$  の交点を  $A'$  と定めると、 $H(CD,A'B)$  です。故に前頁より  $[C,D|A',B]=1$  です。

ところが、複比の性質により、

$$[A,B|C,D]=1 \iff \frac{\overline{AC} \cdot \overline{DB}}{\overline{AD} \cdot \overline{CB}} = 1 \iff \frac{\overline{CA} \cdot \overline{BD}}{\overline{CB} \cdot \overline{AD}} = 1 \iff [C,D|A,B]=1$$

ですから、

$$[C,D|A',B]=[C,D|A,B].$$

したがって、 $A=A'$  です。

**【注】** 本当は 複比も長さだけでなく、方向を考えないと 厳密な証明にはなりません。  
 厳密な証明は、コクセター「幾何学入門」あるいは Coxeter 「Projective geometry」  
 をご覧ください。

## 2. 射影変換との関係

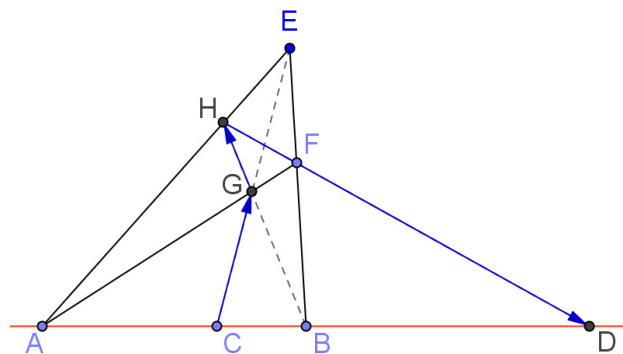
$H(AB,CD)$  のとき,  $A,B$  を動かさず,  $C$  を  $D$  に動かす射影変換が存在します. 下図で順に 点  $E,B,G$  からの射影を考えると,

$$ACB \bar{\wedge} AGF \bar{\wedge} AHE \bar{\wedge} ADB$$

すなわち, 3つの背景写像の合成で「 $ACB \bar{\wedge} ADB$  ( $A,C,B$  はそれぞれ  $A,D,B$  に移る)」となります. そして「射影変換の基本定理 (一直線上の射影変換は3点の像で決まる)」により,  $ACB \bar{\wedge} ADB$  となる変換は唯一つです. 故に

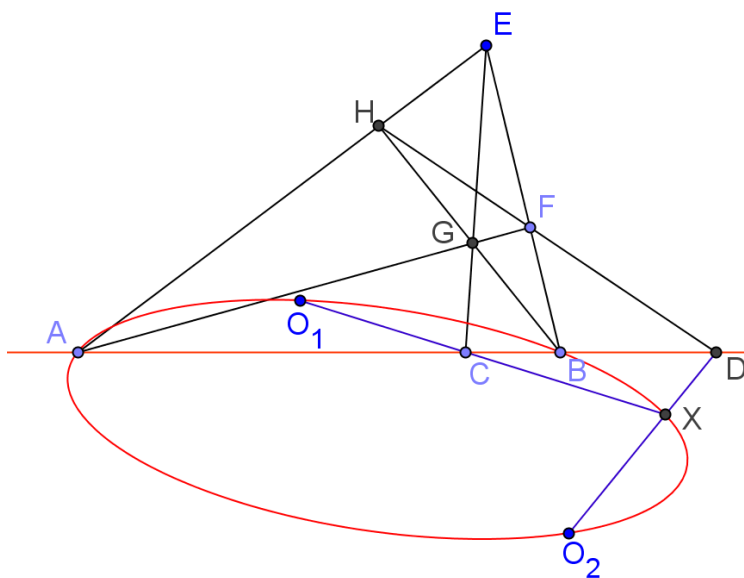
「2点  $A,B$  を動かさない射影変換  $f$  による  $A,B$  以外の点を  $X$  とすると,  $A,B$  に関し,  $X$  と  $f(X)$  は調和共役」

になります. また  $H(AB,CD)$  なら  $H(AB,DC)$  なので, 「 $f(D) = C$ 」も成り立ちます.



[projection with 2 invariant point.ggb](#)

さらに,A,Bを固定,2定点  $O_1,O_2$  をとり,直線  $O_1C$  と  $O_2D$  の交点を  $X$  とすると,  $f(C)=D$  だから,直線  $O_1C$  と  $O_2Q$  の間に射影変換が存在します. ゆえに  $C$  が動いたとき「 $X$  の軌跡は2次曲線」となります. ([Steinerの定理](#)の逆)



[conic.ggb](#)